

## 北海道方面

### 室蘭の交通主要路鋪裝

交通量の増加と自動車の發達とは道路の鋪裝化が必要となる。室蘭でも數年來其の必要に迫まれ種々研究を重ねて居たが、愈々其の機運到來し交通量の多い道路から順を逐て縦横に着々鋪裝する事になつた、幹線とか支線とかの別を立てず交通量の多寡から考へて既に海岸町日本一坂下から下村鐵工所前の一區間は工事中である、之れに續いて十數路線を鋪裝し主要なる交通路は縦に横に改良される譯である、失業苦に喘いで居る窮民を毎朝出勤順に數十名宛就

地方通信

勞せしめ失業者多數の場合は隔日に就業せしむる等保導委員が世話をなし市の内外に飢者無きを期して居る、大町通り及び濱町通りも近かく起工の筈になつて居り母戀と御前水から御釜山神社に至る舊國道を最後

に今秋九月頃完成する豫定である。

## 東北方面

### 松島行樂逍遙道路築造

遊覽者を誘引して汀南の繁榮を計るため宮城縣の桃生郡野蒜海濱青松の景地から宮戸村に至る逍遙遊樂道路の設計は曩頃完了したので六月二日關係町村では打合會を開き其の促成を圖る事となつた、該道路の延

長は二千五百間、幅員五間の埋立道路であつて従來船酔に恐れて勝景を抜きし客等には非常な福音で宮城電鐵東北須摩を結び景勝の海濱をドライブする痛快味は今から期待されて居る。

### 名取橋架設工事愈進捗

仙臺市南方の門戸とも言ふべき名取橋工事は豫算二十萬圓で昭和五年三月起工以來着々進捗して今や南北兩橋中間の道路工事を残すのみとなり、大野田村中田町商工會等では盛大な開通式を催すべく協議中である、本橋はデック・プレートガーダー式で中間に七十メートルの道路を以て二分され橋長は北方四十二メートル、南方百九十メートル、全長百三十二メートルにして、幅員七メートル九八のアスファルト面を以てし五箇所に電燈を點ずる設備があり堂々たるモダン橋梁として異彩を放つて居る、明治九年明治大帝が東北御巡幸の御此の渡しを御通過の際に御休憩ありし遺跡は此橋

南の袂にある。岩沼南方の藤波新橋と共に仙臺に於ける名橋と既に評判され居りまた西多賀村が仙臺に編入の曉は大仙臺南方の門戸として光彩を放つであらう。

### 信越方面

#### 信濃川の五反田橋開通

府縣道加茂卷線、南蒲原郡田上村保明と中蒲原郡須田村五反田との間に流るゝ信濃川の上に工費十一萬五千圓で架橋工事中であつた五反田橋は昭和六年五月起工以來一月を要して竣工したので六月八日の吉辰を下して開通式は舉行された、舊橋は大正四年木造で架橋されたもので腐朽甚だしきため近代交通には堪へ難くなつたから新橋は最も近世式の型を縣土木課で研究し下部はコンクリートとし上部は曲弦ワイレン型徑間三十間四連全長一百二十間の長橋で開通式後直ちに渡り初めの芽出度き三夫婦は加茂町字狭口の番場小平次(八十歳)妻ヨ

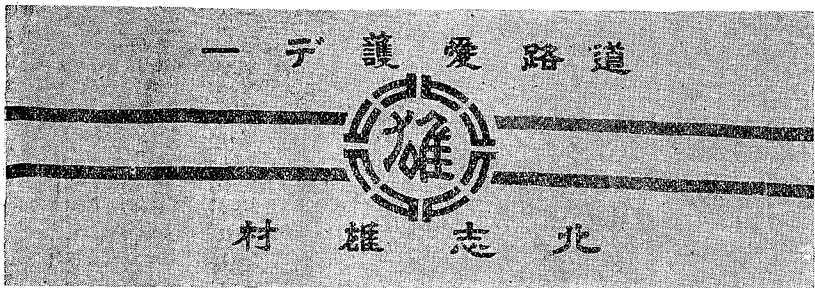
リ(七十八歳)、彌古藏(六十一歳)婦なか(五十四歳)、國司(三十二歳)妻マツ(二十五歳)である。

#### 美事に出來た宮野原橋

信越國境中魚沼郡上郷村の宮野原橋は美事な橋影を信濃川の水面に映すに至つた、橋長百二十九米三六、幅員五米一五、總工費四萬六千九百四十二圓、上路式の鋼樁橋であるから視野廣濶で非常に好評である、水清き上流信濃川の溪谿美に此の景觀を添へたる自然美と人工美がよく調和して通行者の眼を樂ましめて居る。

#### 石川富山の道路美事仕

石川縣羽咋郡北志雄村、南邑知村、種川村、志雄村、南志雄村、富山縣米見郡久米村、速川村では連携して來る七月五日を期し道路愛護デーを舉行することになつた、其主なる路線は金澤羽咋線、金澤七尾線、小久米、羽咋、志雄線、所志原志雄線等であ



つて、壯健なる男子は全部出勤する原則であるが特別な事故や病人ある家若しくは十五歳未満六十歳以上の者は参加せずとも差支へなく又何等の負擔も必要としなければいれども参加せざりし向には記念品配布が無いことになつて居る

集合時間は午前六時で六時半から作業を始め、九時半に茶休二十分十一時五十分から零時四十分迄各自晝食を取り午後二時半より茶菓としてセンベ二枚ダンゴ一串を縣及び村當局より各員に支給し、同三時より四時迄に各擔當區域を修理し四時より五時迄に隣接區間との整頓を終へ道路愛護萬歳を三唱して意義深き社會奉仕作業の達成を喜び和氣霽靄裡に歡會する事になつて居るが今回出勞する人員は消防員百七十餘名、學校職員生徒八百八十名、一般人員六百九十名、軍人會二百四十名、青年團四百三十五名、女子青年團百五十名、町村吏員等計三千名で右の寫眞は紀念配布の手拭である。

## 關 東 方 面

### 公益上の篤行表彰せらる

埼玉縣北足立郡川口町 岩田 三史  
昭和七年四月埼玉縣北足立郡川口町道路  
改修工費金壹萬圓寄附ス依テ勲定ノ紺綬褒

地 方 通 信

章ヲ賜ヒ以テ之ヲ表彰セラル  
昭和七年六月二十二日 賞 勳 局

### 五號國道改築竣成

失業救済工事として昭和六年四月以來改修中であつた五號國道水戸市及那珂郡柳河村川田村二千四百八十米(舊國道五千米)及青柳橋、水府橋、早戸橋工事はセメント九百三十瓩、鋼桁材六百瓩、丸軟鋼百四十八瓩、洗砂利三千立方米、工費二十九萬六千五百圓延人員十萬四千二百人の手により曩に竣成したので去る二十五日の吉辰を選び盛大な開通式を舉行したが國務多端の際であつたので東京からは土木出張所長眞田博士が出席他は缺席した爲め祝賀會も頗る落付いたものであつた。

## 東 海 方 面

### 濱名湖の架橋工事

一號國道濱名湖の架橋工事は一時中止の

如き變體に陥つて居たが其後に至り銳意工を進めた結果既に大部分竣成し勾欄の手入れ等も七分通り了したから竣工次第近く盛大なる開通式を舉行する豫定である、同地方は時恰も海水浴の時期であるから舞坂町、新居町等では避暑客誘致を兼ね大々的に祝賀氣分發揮の準備中である、從來三河と遠江の連絡路は本坂峠を越へ豊橋、濱松間を濱名湖の北岸に大迂回したのが同橋の完成により今夏からは殆んど直線形となり距離は勿論時間等も大節約され、靜岡、愛知兩縣交通のスピード・アップ現出も目捷に迫り自動車關係者は定期運輸路線爭奪準備戰を開始して居り地元附近は遊覽客募集施設に着手し發展策に銳意して居る。

### 一宮の道路敷地回收

愛知縣一ノ宮市では市政諸般の調査中に端しなく道路敷地盜用の不正者が尠からず發見され、不正者庸懲の聲は非常な勢を強め容易ならぬ事態を見むとするに至つたの

で、土木委員會に於て審査繼續中の處、道路敷地を私有地に取り込み圍むをなしたるもの及び庇を道路敷地上に突出せしめ甚だしきは石垣又は土臺をなし柱を建て屋根を構へあるもの等は六ヶ月以内に撤去すべき事、撤去費用は自辯とす、受令後三十日以内に撤去する者には道路占用料を免除するも爾後に亘る時は占用料を累加徴收す、之に應ぜざる者ある時は道路法第五十四條、

行政執行法第五、六條を適用し強制執行するに決した、之れが全部回收する時は路線の形も良くなり路幅の如きも非常に廣くなり交通の支障も除却され一般の利便は非常なものであらう、之れにつき不法占用者數名は前所有者より買取りたるものにして其以前より占有せるものなれば『十ヶ年以上占用すれば所有權を移動取得するので今同市の命令には反對である』と申出たが、其は民法にいふ私有物件の場合であつて、道路法によつてはそれに該當せぬものであるから市當局及交通土木委員會では斷然執

行する段取りとなつたが、之れに反對する者の敷地に就て調査の結果、帳簿上の面積より非常に多大の敷地坪となつて居り調査員や市民を驚怒せしめて居る。

### 木會、揖斐、長良工事進抄

國道一號線愛知縣海部郡彌富町から三重縣桑名郡長島村に達する國道改修架橋工事は第一期橋脚下部の潜函式部分完成して既に道路取付の工事も進み今は三橋共に鐵桁架設の準備中に屬して居る、其の着工期は河水減少の季節を選んで架設し明春櫻花爛漫の候を期して盛大な記念開通式を舉行する豫定である。

## 近畿方面

### 淀大橋架橋工事竣功

府縣道淀新田停車場線久世郡淀町御牧村立會字治川に架せられたる淀大橋は明治卅七年の架設にして、保守的京軍にも似ず新

らし物好の京都は、路上電車も日本で最初、又今春から動いてゐる無軌條電車も日本で最初、此の淀大橋も明治卅七年の工事にしてハウ型構橋(木造)之も亦日本で最初の木造ハウトラスで、當時は淀の川瀬の水車も運轉を止め、巨椋池の白鷺も一時は飛翔を中止した位であつたが、年數には勝てず腐朽甚しく雀も巢をくわず、橋齡到り昭和六年九月工費八一、〇七二圓を以て大改築の工を起し、橋脚は舊の儘唯根固を施し橋體のみを架替、型式は下路式ワールンハウトラス延長二六六米九三、經間十連(一經間二五米六五)有効幅員五米、竣効は昭和七年三月三十一日である。

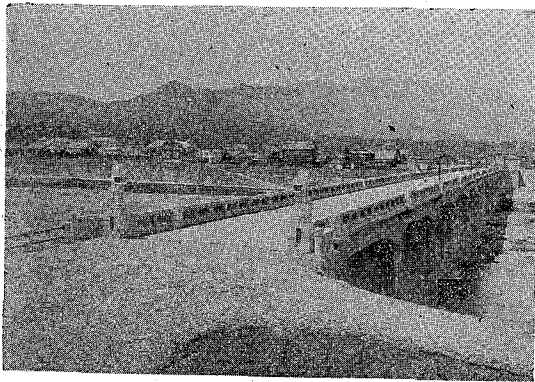
本橋の竣成に依り京都奈良間經濟上物資の輸送は向後益々多きに加え、京阪國道の改修成ると共に其の交通經濟上の價値は國道十五號線を凌駕するに到る事は蓋し多言を要せざる所である。因に本橋は失業救濟事業として施行されたものである。

## 上野橋架橋工事竣功

府縣道太秦向日町線京都市右京區桂梅津立會桂川に架せられたる上野橋は明治四十三年土橋として架橋され爾來京都市中部と乙訓及口丹波方面を交通上連繫し、産業開發に益する所多大であつたが、昭和五年八月の水害に全橋流失し、本省の災害査定を受け復舊工事を爲すに決したるも、從來の土橋にては近代交通用具の發達に伴ふ高速度機關の要求に應ずること困難なるを以て、將來を考慮し府財政逼迫の折に不拘、査定額に府費を加えて近代的橋梁たらしむべく、昭和六年十月災害復舊工事として工費八二、三七九圓を以て工を起し、橋型鐵筋コンクリート連續桁及單桁とし、延長二六四米五、外に取合道路二九六米有効幅員五米四六、徑間一二米、連數二十二で昭和七年三月竣功、五月十五日京洛の葵祭と嵯峨の車折神社の舟遊祭と同時に、多數の來賓を得て賑かな開通式を舉行した。

## 音無瀨橋架換工事竣功

府縣道物部福知山線天田郡福知山町俺我村立會由良川に架せられたる音無瀨橋は、



(京都府) 音無瀨橋

山家一萬綾部が二萬福知三萬五千石と老幼を問はず唄ひ暮す福知山音頭で有名な中丹波の都會地福知山町の巷口を扼する昔の高

い橋である。而して福知山町を中心とする一經濟プロックは、其の交通に於て京都及但馬方面とは國道十八號に、丹波方面とは國道三十四號に據り、夫々物資の輸送取引を爲し、若狭舞鶴方面との取引は府縣道物部福知山線に依り年々取引の増加を來しつつあり。然るに舊橋は明治四十年に板橋として架設され橋脚の高いのが有名なりしのみならず、毎年盆には俺我の美妓多數揃いの音頭姿で對岸の福知山町へ繰込む橋上の景は、さながら元祿の昔を想はせる様な一種云ふに云はれぬ郷土趣味が横溢し、なか／＼美事なものであるが、橋が板橋にて橋齡を過ぎ、かてゝ交通量多き爲、損傷腐朽甚しく加えて橋脚が高い爲危険に瀕したので昭和六年九月、失業救濟事業として工費十二萬二千五百三十三圓を以て架橋の工を起した。型式はゲルバー式鐵筋コンクリート板橋徑間一九米、右岸一連一四米八、左岸一連四米二、連數一一連、延長一九〇米、外に取合道路二二六米三五九、有效幅員六

米六三外装は純洋風仕上げとし、昭和七年三月竣功した。

而して本年からは踊盆りの橋渡りも昔日の影なく、橋の近代型に比し音頭姿が不釣合となり、其の趣味を發揮し得ざる恨みが深くなることは仕方がないと思ふ。

### 昭和橋開通式の賑ひ

木津川に架設された大阪の海と陸との玄關（梅田九條線）に架けた昭和橋の開通式は去月二十八日午前十時半から同橋畔で賑かに舉行され府市其他より六百餘名の來賓出席して早朝より祝賀花火の音大空に響まし、天満宮の寺田社司以下數名の伶人奉仕して神事の儀を執り行ひ參列者の玉串奉奠や祝辭朗讀等型の如くありて式を終り、次で通り初めの儀に移り東側からは東江、江戸堀兩小學、西側からは本田小學の幼少年八百餘名が渡り初めを行つたが雨中の事として其の慘じめな姿には保護者以外の人々まで泣かされたが晩景より雨霽れて夥しき人

出あり非常な賑ひを呈した。

### 熊野川に架橋協議

三重縣と和歌山縣の境を流れて居る熊野川に架橋の問題は去る大正十年以來既に二十餘年になるが、今以て實現に至らず依然として足利時代から今日まで渡舟により僅かに往來して居るのを遺憾とし石原三重縣會議員と本山南半婁郡自治會長は宮内三重縣土木課長に其の經過を陳べて同意を得、次で和歌山縣に齋藤内務部長、平川土木課長に兩縣交通上及び地方物資集散上の改善關係等を詳述して賛成を得たので、兩縣協議の上其實現に努力することに決し多年の懸案も漸やく茲に曙光を認むるに至つた。

## 中國方面

### 海軍記念日に開通式

藝北一の大都市として其の昌榮を誇る山

縣郡加計町の玄關に架替られた永代橋は腐朽せる舊橋とは雲泥の差ある一大美觀となつたが親柱のみ堂々たる圖體なるに引換へ橋名版が餘りに小さく自動車上からは一字も判明せぬと開通式參列者一同から攻撃が出たが、芽出度い開通式の日だから其れは他日大きな橋名版とし文字も相當距離から讀み得るやうにすると言ふことになりて午前十一時から開通式は舉行され佐々木神職が型の如く神事の儀を奉仕し正午に小學兒童の渡り初めあり、午後一時から長尾神社境内で祝賀宴を催し午後二時から餅撒き同三時から相撲浪花節等餘興あり、附近の二階からは三味太鼓の音も賑々敷く不景氣風は何處を吹くかと豪勢な景氣を現はし、非常な賑であつた。

### 加茂の住吉橋開通式

加茂竹原町の住吉橋開通式は加茂郡商工會協賛の下に竹原町主催で去る二十五日午後二時から嚴肅に舉行された、大乘神社の

唐崎宮司、磯ノ宮神社の竹原社掌等神事奉仕の下に開通式を了して一旦式を閉ぢ、十  
分休憩次で渡り初めの儀に移り八十歳以上  
の高齡者を先頭に此の橋の齡も永かれと頼  
む歩みも静々と列を正して渡り了り水儀樓

### 公益上の篤行表彰せらる

勳三等 渡邊 祐策

昭和六年十月山口縣厚狹郡二俣瀬村

道路費金三萬圓寄附ス依テ褒章條例

第一項ニ據リ會テ授與セシ紺綬褒章

ニ附スヘキ飾版一箇ヲ賜ヒ以テ之ヲ

表彰セラル

昭和七年六月二十二日

賞 勳 局

本店で協賛會及び關係者祝宴を張り、また  
町内各戸には記念の風呂敷及繪巻書を配布  
して喜びを町内一同と共にした、前日は楠  
公神社遷宮式の人出と二日續きのため各商  
店飲食店等は近來になき繁昌であつた。

地方通信

## 九州方面

### 板櫃到津、兩橋開通式

福岡縣の失業救済土木事業として昨年十  
二月五日起工以來銳意努力中なりし豊前小  
倉の板櫃橋及び到津橋は曩に竣工したので  
六月十九日午前十一時から板櫃橋畔で嚴肅  
な開通式は舉行された。

此の日朝來快晴に恵まれて、新裝成れる  
板到二橋には萬國旗を張り繞らしたる中に  
五色の新滿洲國旗も翻翻と翻へり、式場は  
は大小數個の天幕を張りて祭壇を設け、定  
刻前既に萬般の準備成り來賓續々休憩所に  
溢る十一時二十分式場係の先導により中山

溫順知事代理(福邑内務部長)、坂本土木課  
長、工事主任小林小倉土木管區長、神崎小  
倉市長、醫師八幡市長、樋口小倉監督判事  
小野縣議、丸橋小倉商工會議所會頭、中富  
八幡署長地元代表者有志三百餘名着席する

や、到津八幡宮の社司以下鈴入奉仕して修  
祓、降神、獻饌、玉串奉奠、開通祝詞奏上  
等神事に次で工事主任より工事概要の報告  
朗讀をなし、福邑知事代理の式辭、神崎小  
倉市長小野八幡市長、其他來賓の祝辭あり  
て閉式し、坂本土木課長は橋上の矢倉より  
紅白の餅撒きを指揮し、次で到津八幡境内  
に設けたる天幕の祝宴場に參集して開通式  
萬歳を三唱し午後二時半終了した、板櫃橋  
の延長は五十一米二〇、幅員二十二米八〇、  
工費三萬一千二百四十三圓、また到津橋は  
延長二十一米六〇、幅員二十五米七七、工  
費一萬五千四百八十圓のモダン・コンク  
リート橋で板到兩新橋共小倉市に美觀を添  
へた譯である。